

公表 事業所における自己評価総括表			
○事業所名 児童発達支援 STELLA POLARE			
○保護者評価実施期間 R7年 2月 3日 ~ R7年 2月 11日			
○保護者評価有効回答数 (対象者数) 2名 (回答者数) 2名			
○従業者評価実施期間 R7年 2月 3日 ~ R7年 2月 11日			
○従業者評価有効回答数 (対象者数) 4名 (回答者数) 4名			
○事業者向け自己評価表作成日 R7年 3月 21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用定員やこどもの状態に対して、職員の配置が実現出来ており、支援が充実しています。	職員間で支援内容について共有し、日々の支援を行っています。またこども一人一人が安心して落ち着ける時間であるように、各職員が意識を高く持ち対応している。	職員間のミーティング等で活発な意見交換を行い、支援の充実についての意識づけを行う。
2	支援プログラムが固定化しないように工夫している。日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	こどもの主体性や対話を大切にした活動を行っています。また支援の記録をとることでこども一人一人の成長に合わせた支援をきめ細やかに行っている。	今後も一人一人のこどもに対して、職員が理解を深め必要な支援を行う。
3	日頃からこどもの状態を保護者と伝え合い、こどもの発達や課題について共通理解をもっている。	送迎時の申し送りを大切にしており、こどもの発達の状況や課題について話をし、共有する機会を重視している。	保護者支援の一環として、定期的に保護者との面談を実施してこども達の成長を伝える機会を作っている。今後も引き続き実施していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部連携全般（地域子ども・地域住民、病院）	事業所が開所して1年目であることもあり、外部との連携が弱いと感じている。	他機関との交流を新たに構築し定期的なイベントを検討していきたい。
2	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等が策定され、訓練を行っており保護者に説明を実施していますが、保護者側の周知に至りにくい現状があります。	マニュアルは作成し、マニュアルに基づいて研修や訓練を実施し、備えていますが、マニュアル策定、訓練実施現状の説明が不十分であったのではないかと考えられます。	訓練でのこどもたちの様子や課題、対応策などの気づきをその都度保護者に見える化し、共有していきたいです。